

今後の取組の方向性

1. 適正な工期設定・施工時期の平準化

- 時間外労働の上限規制に対応できるよう週休2日を前提とした適正な工期設定による工事の発注や施工時期の平準化を推進
 - 国の発注工事では、時間外労働の上限規制に対応できるよう週休2日工事を推進。併せて、適正な工期を確保するためのゼロ国債・2カ年国債の活用等による施工時期の平準化を推進
 - 地方公共団体及び独法においても、直轄工事に準じた取組を推進
 - 民間発注団体においても、適正な工期設定や施工時期の平準化を推進

2. 社会保険の法定福利費や安全衛生経費の確保

- 適正な工期設定に伴うコスト増加のしわ寄せが必要経費の削減に繋がらないよう、社会保険の法定福利費や安全衛生経費を含んだ適正な請負代金による契約を徹底
 - 国の発注工事において、率先して徹底
 - 地方公共団体及び独法においても、適正な請負代金による契約を徹底
 - 民間発注団体においても、適正な請負代金による契約を徹底

3. 生産性向上

- 工事現場における生産性向上を図る観点から、ICTの積極的な活用や書類の簡素化を推進
 - 国土交通省におけるi-Constructionの取組を参考に、他省庁においても、ICTを活用した発注工事についてモデル的に実施。併せて、書類の簡素化を推進
 - 地方公共団体及び独法においても、直轄工事に準じた取組を推進
 - 民間発注団体においても、建設企業による生産性向上の取組への理解・支援を推進

4. ガイドラインの策定・周知

- 1. ～ 3. の内容を盛り込んだ「適正な工期設定等のためのガイドライン」を策定
 - 国の発注工事では、当該ガイドラインに沿った工事の実施を徹底
 - 地方公共団体及び独法に対しても、当該ガイドラインの遵守と取組の強化を要請
 - 民間発注団体に対しても、ガイドラインを周知し、ガイドラインに基づく工事の実施を要請

5. 不適正な工期への対応の強化

- 受注者による工期ダンピングや発注者による短工期の強要を防ぐための取組について検討

6. 民間発注者への支援等

- 民間工事の発注に関する先進的な取組への支援、適正な工期設定等に関する普及啓発活動など、民間発注者の取組への支援について検討

7. フォローアップ

- 発注省庁、地方公共団体、独法及び民間発注団体等並びに建設業団体の取組状況について、毎年度フォローアップを実施

取り組みの内容

- i-Constructionの推進
 - ・建設現場の生産性向上に向けたICT活用工事の推進
 - ・人材・機材の効率的な活用による生産性の向上や労働環境の改善に向けた施工時期の平準化
 - ・業務の効率化に向けた工事関係書類の簡素化
- 週休二日等、休日を確保するために必要な適正工期による発注
- 週休二日に対応した必要経費の計上（リース代等の共通仮設費、技術者給与等の現場管理費）
- 適切な賃金水準の確保（労務単価の引き上げ、低入札価格調査基準の運用見直し）



i-Constructionの推進等により
週休二日の確保等、建設業における働き方改革を目指す